

# YMCA セミナー2019

## 2.8 独立宣言 100 周年 ～日本と朝鮮半島のこれまでと未来～

朝鮮 3・1 独立運動の礎となった朝鮮人東京留学生による「2・8 独立宣言」が当時の東京朝鮮 YMCA（現在の在日韓国 YMCA）で宣布されてから 100 周年を迎える歴史的な 2019 年。100 年前の 2・8 独立宣言の歴史的意義やキリスト教との関係、また、日韓市民社会を生きる私たちがそこから何を学び、これから何を大切に歩いていくのかをともに考える機会とします。  
どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。



田附和久さん

在日韓国 YMCA 主事

大学在学中に在日韓国 YMCA でボランティアリーダーとしての活動を開始 在日韓国 YMCA 国際文化部主任、日本語学校校長、2・8 独立宣言記念資料室長。



金 成元さん

在日韓国 YMCA 理事

在日 2 世として、大阪で育つ。2002～2018 年、KCC（在日大韓基督教会館）の館長を務める。2018 年までは、イカイン保育園の園長も務めた。



飛田雄一さん

神戸学生青年センター館長

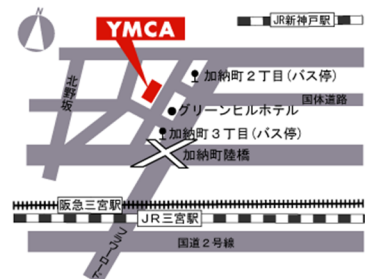
学生時代より在日コリアンの問題に取り組む。強制動員真相究明ネットワーク共同代表、NGO 神戸外国人救援ネットワーク代表、むくげの会会員など。1991 年より現職。

## 2019.11.2(土)15:00～17:00(14:30 開場)

会 場：神戸 YMCA 三宮会館 2 階チャペル

内 容：15:00～15:45 3 者による発題  
15:45～17:00 パネルディスカッション

※参加費無料、事前申し込み不要



主 催 神戸 YMCA ミッション委員会

神戸 YMCA

公益財団法人 神戸 YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11 Tel 078-241-7201



## YMCA セミナー2019 発題要旨

今回のYMCA セミナー冒頭では、3名のゲストから下記の点を中心として発題をいただきます。それぞれの研究や実践、体験を通して語られることに耳を傾け、ともに考える機会になればと思います。

### 飛田雄一氏

「徴用工」問題、日本政府はすべて解決済みとの立場です。が、日本政府も個人の請求権は日韓条約によって消滅していないと（小さい声で）言っています。これは元シベリヤ被抑留日本人の補償問題と関連しています。日ソ共同宣言によって日本政府のロシア政府に対する請求権は消滅したが、個人の請求権は残っている。個別にロシア政府に請求してくださいと言っているのです。

神戸も戦時中の「徴用工」問題と無関係ではありません。①三菱重工業神戸造船所（被連行者数 1984 名、内死亡 12 名）、②神戸船舶荷役（148 名、1 名）、③川崎重工業製鉄所葺合工場（1398 名、25 名）という記録も残っています。

### 金成元氏

日韓関係が戦後最悪だと言われています。双方の為政者間の不信が経済関係や安保問題にまで影響を及ぼしています。

こういった状況の要因となっている「徴用工問題」をどうとらえるかについて共に考え、この状況をどのようにして改善していくべきかについて考えたいと思います。

またこの問題を機に、テレビ、雑誌などを通して流されている韓国（韓国人）に対する常軌を逸した批判が、在日韓国人に与える影響についても指摘したいと思います。

かつて、日韓間で歴史問題を克服しつつ関係改善を試みる取り組みがありました。このことの再評価をとおして、今日の問題のとらえ直しが出来ればと思います。

### 田附和久氏

永遠の隣人である日本と韓国・朝鮮の人々が希望に満ちた未来に向かって進むには、歴史を正しく学び伝えること、いかなるときにも友人としての交流を持続すること、この二つが車の両輪にならなくてはならないと考えます。日韓間の民間交流は、この数十年の間に量も質も飛躍的に増加、向上しましたが、歴史を学ぶ機会が特に日本側において十分に整えられないために、私たちは真に良好な関係をいつまでも築けずにいます。かつて朝鮮人留学生による独立宣言発表の現場となったことで知られる在日本韓国YMCA は、歴史を学ぶ活動、青年たちの交流を支援する活動を長く続けてきました。その経験と未来への希望を、神戸YMCA に連なる同労者の皆さんと分かち合えればと思います。